

令和3年度四国地域エネルギー・温暖化対策推進会議 支援プロジェクト

プロジェクト名及び概要	応募者名・団体名	支援してもらいたい内容
【うどんまるごと循環プロジェクト】 「うどんまるごと循環プロジェクト」は、2012年1月に設立、運営を開始し、「うどんをまるごと循環させる」を基本コンセプトとして、「うどんからうどんを作る」を合言葉に、うどんや食品廃棄物からバイオガスを生成しうどん発電を行ったり、バイオガス等を生成した後に残る残渣(カス)から生成される液肥(消化液)を使って、うどんの原料の小麦やうどんの薬味となるネギなどを試験的に栽培し、うどんから生まれる低炭素社会モデル、循環型社会モデルの構築を進めてきた。 2014年度には、「うどん発電」を導入することにより、従来バイオマスでは実現困難とされてきた採算性を確保するとともに、香川県内にこのモデルを浸透させるため、小中学生に対する環境教育を実施することを中心として取り組んできた。 こうしたことを踏まえ、2015年度以降は、これらの取組を更に発展させるため、①うどんまるごと循環システム・モデルの構築(完成)、②市民、学校等への全県的な普及啓発、③市民、企業、団体等による参画、を積極的に推し進めることにより、地球温暖化防止等に資することを目的としている。 2019年度からは、さぬき麺業で製造される規格外商品を坂出市社会福祉協議会や障がい者福祉施設にフードバンク活動として提供し、生活困窮者の方々に配布したり、子ども食堂で活用してもらっているなど、新たな取組により、規格外のゆでめんを2年間で約2000玉(400キログラム)提供した。 2021年度は、引き続き、フードバンク支援活動を行うとともに、うどんまるごとエコツアーなど、イベントを開催する予定であり、プロジェクトが目指す「うどんゼロ・エミッション」に向け、県民や企業等が「廃棄物は資源・エネルギー」であるという基本コンセンサスを得ていくことが重要だと考えており、このための意識を変えることがテーマとなっている。	うどんまるごと循環コンソーシアム	イベント等における後援名義、募集のための周知・呼びかけ等